

# 委員会 通信

## 第23回

# 議会広報特別委員会

議会広報特別委員会は、年4回の定例議会にあわせて『多古町議会だより』を年4回発行しています。議会の状況と経過、審議の内容について、わかりやすく町民の皆さんにお知らせするため、編集・校正を行っています。



広報特別委員会の委員です

## 親しみのある議会だより を目指して…

多古町議会だよりも歴史は浅いかも知れませんが、創刊以来15年、今回で59号になります。『町民の皆さんに親しく愛読される議会だより』を目標に努めております。広報委員は、千葉県町村議会議長会主催の研修会や広報クリニックに参加しております。研修会では編集や校正について講習があり、実際の議会だよりの発行に役立てています。また広報クリニックでは、すでに発行した議会だよりを講師にチェックしてもらいます。見出しやレイアウトの指摘を受け、わかりやすい紙面に努力しています。

努力しています。

委員会の中では、議会終了後、今より時

間的に早い発行ができないか、ありのまま

の姿を早く知らせるべきではないだろう

かという意見がありました。原稿やペー

ジ数、印刷等の問題から、今後の課題の一

つとして残されています。また、いつも

一番の悩みは要約のみの掲載になってし

まうことです。限られたページの中で、限

られた文字数の中で、対応しておりますの

で、審議内容によっては詳しく掲載できな

いことがあるかもしれません。ぜひ、議会の傍聴にもお出でいただきたいと思



会議の様子：委員全員で校正を行います

## 議会も4月で任期満了…

この4年間を振り返り、委員として努めてまいりましたが、しみじみと文章にすることの難しさを痛感しました。委員全員がそれぞれの担当で、協力しあいながら発行できたことは感慨無量であります。4年間お読みいただいた町民の皆様には深く感謝申し上げます。

議会広報特別委員会

委員長 柳下義衛

多古町議会には、常任、特別、議会運営の各委員会合わせて8つの委員会があります。このコーナーは各委員会の委員長が活動の様子をお伝えしています。

## 編集 後記

◆多古町の議会だよりも町民の皆様方の暖かいご支援を頂きながら、今回59号を発行することとなり、

月日の経過するのが早いものだと痛感しています。発行当初は、原稿を書く人が少なく本当に苦労しました。視察研修に参加してもペンと手帳を離さず持ち歩き、緊張の連続でした。今は広報委員が交代で文章を書いているので本当に楽になりました。しかし苦労して書いた広報があまり読まれていないという声を聞く残念でなりません。◆多古町も少子高齢化社会をむかえる人口が毎年100人くらい減少する時代になり、学校が統合になったりもしています。多古町は千葉県内の町村の中で2番目に土地が広い町ですので、若い人たちが喜んで住みたくなくなる町づくりを目指すことが必要だと思えます。◆議会は皆さんの代表として、住民の意志を行政に反映する使命を負っています。そのためにも開かれた議会となるよう、この議会だよりを通して、わかりやすくお伝えしていきたいと思えます。

委員 伊藤信也

3月は定例議会が開かれます。ぜひ、傍聴にお出かけください。日程・内容など詳しくは多古町ホームページか議会事務局まで。